

天文台の行事

申込方法 受付開始日の9:00から科学館HPまたは来館で
※星の教室は、空きがあれば当日申込み可



星の教室「今年の天文現象2025」

■日時／1月26日(日) 14:10～15:40 ■定員／先着170名 ■参加料／無料
■講師／近藤祐司(旭川市科学館天文台)
■申込期間／12月27日～1月25日

星の教室「ジェームズ・ウェッブ宇宙望遠鏡とその観測成果」 —宇宙の始まりに連れて行ってくれるタイムマシン—

■日時／3月30日(日) 14:00～16:00 ■定員／先着50名 ■参加料／無料
■講師／富樫一憲先生
■申込期間／2月28日～3月29日

冬休み天文教室「天体望遠鏡の製作」

■日時／12月27日(金) 10:00～12:00 ■対象／小学4年生～中学生
■定員／先着10名 ■参加料／4,200円
■申込期間／11月26日～12月17日

天体を見る会

●冬の星と火星・木星・天王星・月の観測

1月12日(日) 19:00～20:30 [申込期間] 12月13日～1月2日

●冬の星と火星・木星・天王星・月の観測

2月8日(土) 19:00～20:30 [申込期間] 1月9日～1月29日

●冬の星と火星・木星・天王星・月の観測

3月8日(土) 19:00～20:30 [申込期間] 2月6日～2月26日

■対象／どなたでも(中学生以下は保護者同伴)

■定員／各50名(抽選) ■参加料／無料

※申込開始日の9:00から科学館HPにて受付を行います。

※開始時刻から約30分間はプラネタリウムで当日の星空解説を行います。

※星の見えない天候の日でもプラネタリウムで解説のみ行います。(30分～1時間程度)

※テーマは変更になる場合があります。

天体観望会・特別開催

天体を見る会の開催日以外の日でも、晴れた日の夜に観望会を開催する場合があります。

当日の夕方頃の急な告知(X(旧Twitter)にて)となります。天文・プラネチームのXアカウントをぜひ登録してください。

■開催時刻／およそ19:00から21:00くらいまで

■定員／特になし ■申込／不要

	12月	1月	2月
天文台 スタンプ ラリー			

天文台の望遠鏡で星を観察すると、毎月に1回スタンプを押せます。
連続して3ヶ月分スタンプを集めると記念品がもらえます(連続していれば台紙をまたいでもOK)。

天文台やプラネタリウムの情報をCHECK!

サイバル天文

@SCIPALgnf65_zmp
X(旧Twitter)



旭川市科学館サイバルの天文台やプラネタリウムに関する
イベント情報、天文現象などをSNSでお伝えします。

◆開館時間 午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)

12～2月の
休館日

12月2日(月)・9日(月)・16日(月)・23日(月)・30日(月)・31日(火)
1月1日(水)・3日(金)・4日(土)・6日(月)・14日(火)・20日(月)・27日(月)・31日(金)
2月3日(月)・10日(月)・17日(月)・25日(火)・28日(金)

◆観覧料

科学館	博物館	観覧料(円)				中学生 以下
		大人	高校生	個人	団体	
常設展示室 (1日)	プラネタリウム (1回)	410	320	280	210	無料
—	—	330	260	220	170	
—	—	520	410	350	280	
—	—	530	430	350	280	
—	—	470	370	310	240	
—	—	760	620	510	400	

☆プラネタリウムの観覧券はご購入いただいた回のみ有効です。

☆団体料金は、同じ料金の方が20名以上の場合に適用となります。

☆次に該当する方は、観覧料が免除になります。

(①②)に該当する方は受付にそのことを示す証書の提示をお願いします)

①身体障害者手帳・療育手帳または精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方と介助者(介助対象者と同人数まで)

②介護保険法に定める要介護者の方と介助者(介助対象者と同人数まで)

③学校の児童生徒等を引率する教員

④団体見学申込書による一般団体引率者の方(1/10の人数まで)

☆次に該当する方は、科学館の観覧料が5割減額となります。

(③)に該当する方は受付にそのことを示す証書の提示をお願いします)

①旭川市、鷹栖、東神楽、当麻、比布、愛別、上川、東川、美瑛各市在住の満70歳以上の方

②旭川市、鷹栖、東神楽、当麻、比布、愛別、上川、東川、美瑛各市の高校に通学または在住する高校生20名以上の団体

次のパスポートをお買い求めいただいた方は、
最初に使用した日から1年間対象施設を何度でもご覧いただけます。

種類	対象施設	料金(円/枚)	
		大人	高校生
科学館パスポート	科学館の常設展示室とプラネタリウム	1,040	660
博物館・科学館 パスポート	科学館の常設展示室とプラネタリウム、 博物館の常設展示	1,560	1,040
動物園・科学館 パスポート	科学館の常設展示室とプラネタリウム、 旭山動物園	2,230	

上記パスポートは科学館の受付または市内公共施設の売店などでお買い求めいただけます。

「サイバル☆みらい基金」にご協力ください

新たな展示や企画展、特別展の開催などに役立てられる基金です。寄附は、
個別でのお申し込みのほか、館内に設置している募金箱からご協力いただけます。

【お断り】掲載している投影・イベント情報については、諸般の事情により中止又は延期となる
可能性がありますので、予めご了承ください。最新の情報についてはホームページをご覧ください。

旭川市科学館

〒078-8391 旭川市宮前1条3丁目3番32号

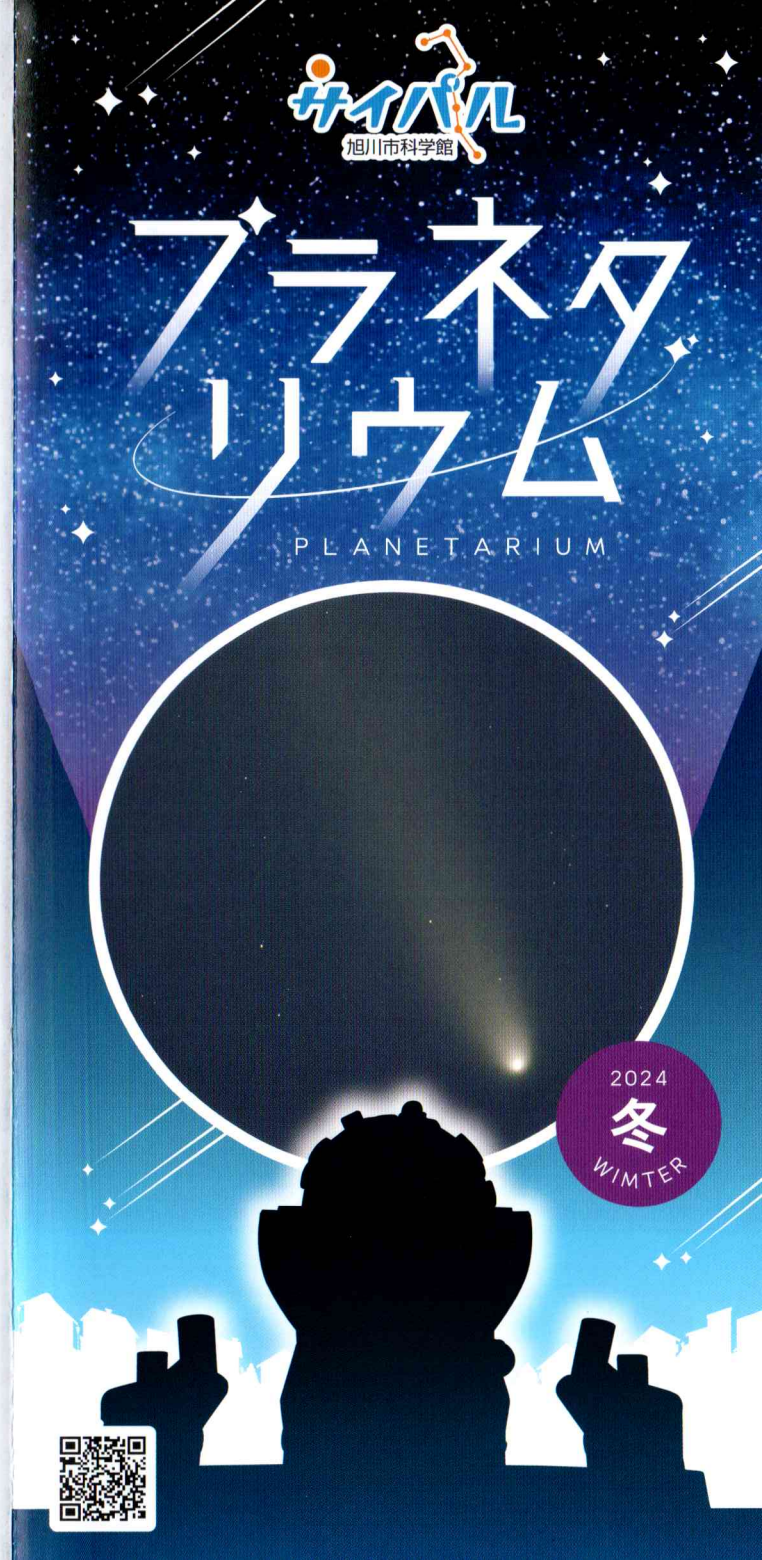
電話 0166(31)3186(代表) FAX: 0166(31)3310

E-mail kagakukan@city.asahikawa.lg.jp

HP https://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/science/index.html

●表紙画像: 紫金山・アトラス彗星

●撮影: 2024年10月16日18時頃 旭川市科学館天文台15cm屈折式望遠鏡で撮影



プラネタリウム

PLANETARIUM

2024
冬
WINTER



一般番組[小学校高学年～大人向け]

その日の旭川の星空と、さまざまな天文現象などを生解説する約40分の番組です。季節や現象に合わせて内容を更新してお届けしています。

冬の一般番組

11/1～12/29
の番組テーマ

クリスマスのお話し

1/2～2/27
の番組テーマ

冬の宝石箱

なかよしタイム／幼児番組[幼児～小学校低学年向け]

季節の主な星座や星にまつわる物語を中心にお届けする約20分の番組です。幼稚園・保育所等の団体利用でもご利用ください。

11/1～12/29 クリスマスのふしぎ

1/2～2/27 ふゆのきょうだいぼし

はじめてのプラネタリウム

それいけ!アンパンマン～星の色と空の色～

※祝日及び振替休日、旭川市立小中学校の夏・冬休みのうち土・日曜日に投影

ドームシアター [小学生～大人向け]

12月～1月 スペースフロンティア



2月～3月 アジアンヒーリング



特別投影[12月～2月の特別番組]

12月「今日の星空クリスマスバージョン」12/21(土)・12/22(日)

1月「プラネタリウムでスマホ撮り」1/2(木)

2月「今日の星空バレンタインバージョン」2/8(土)・2/9(日)

◆ 12～2月の投影時間

		午 前		午 後					
		10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	
投影開始時刻	平日	団体専用	なかよしタイム ※団体予約により変更あり						
	土日	団体専用	なかよしタイム	一般番組		なかよしタイム	ドームシアター		一般番組
	祝日等※	団体専用	なかよしタイム	はじめてのプラネタリウム					

※特別投影・団体予約・催事により番組の内容や時刻を変更する場合がございます。
※定員は170名です。 ※団体利用の場合は3日前までにご予約ください。
※祝日等とは、祝日及び振替休日、旭川市立小中学校の夏休み及び冬休みのうち土・日曜日

学習番組(学校団体利用のみ)

小学校・中学校の団体見学向けに、理科の教科書に沿った内容の番組を投影しますのでお問い合わせください。ご予約については、2週間前までにお申し込みください。

	12月	1月	2月
プラネタリウム スタンプ ラリー			

スタンプを3個そろえたら、スタッフに声をかけてね。

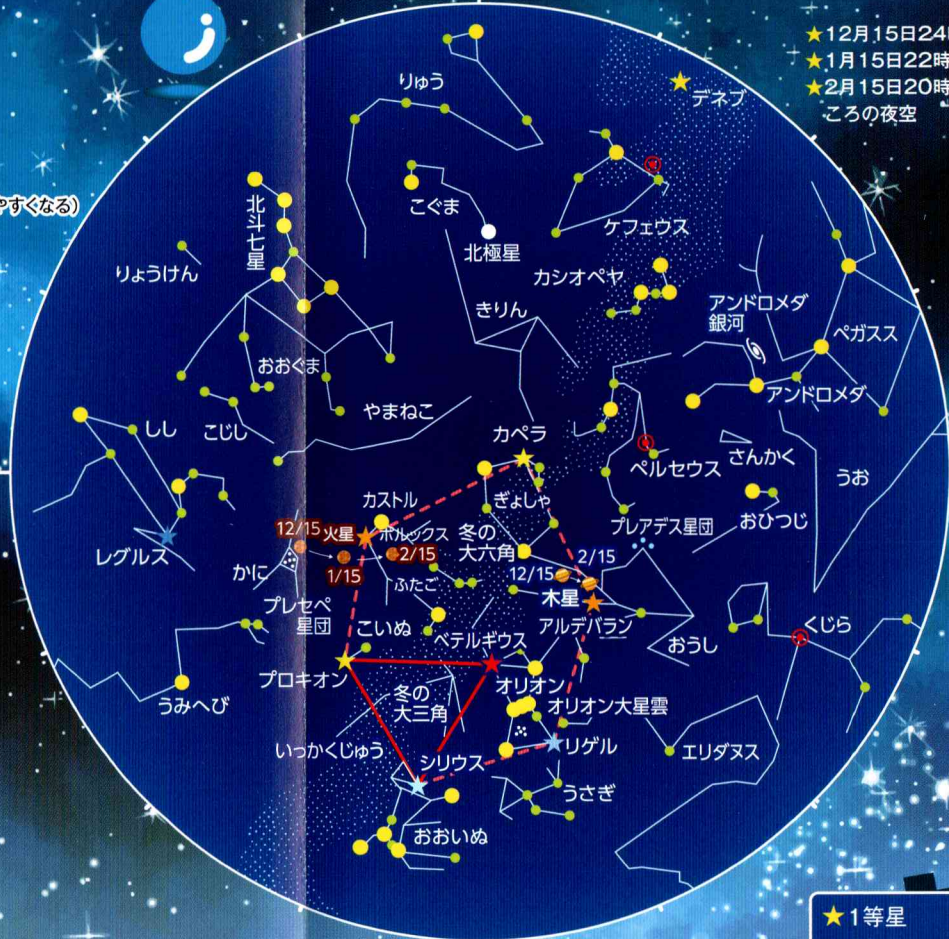
こよみと天文現象

- 12月
- 1日 ○新月
 - 7日 大雪(太陽の黄径が255°になる)
 - 8日 木星が衝
土星と月が接近
 - 9日 ●上弦
海王星が月に隠れる
 - 14日 ふたご座流星群が極大
 - 15日 ●満月
 - 21日 冬至(太陽の黄径が270°になる)
 - 23日 ●下弦
 - 25日 水星が西方最大離角(朝方東の空で見やすくなる)
 - 31日 ○新月
- 1月
- 4日 しぶんぎ座流星群が極大
 - 5日 小寒(太陽の黄径が285°になる)
 - 7日 ●上弦
 - 10日 金星が東方最大離角
(夕方に西の空で見やすくなる)
 - 11日 月と木星が接近
 - 12日 火星が最接近(9,608万km)
 - 14日 ●満月
月と火星が接近
 - 17日 主用(太陽の黄径が297°になる)
火星が衝
 - 20日 大寒(太陽の黄径が300°になる)
 - 22日 ●下弦
 - 29日 ○新月
- 2月
- 2日 節分
 - 3日 立春(太陽の黄径が315°になる)
 - 5日 ●上弦
 - 7日 月と木星が接近
 - 10日 月と火星が接近
 - 12日 ●満月
 - 16日 金星が最大光度(−4.6等)
 - 18日 雨水(太陽の黄径が330°になる)
 - 21日 ●下弦
 - 23日 ○新月

空にかざして
使ってみよう!

冬の夜空

★12月15日24時
★1月15日22時
★2月15日20時
ころの夜空



- ★ 1等星
- 2等星
- 3等星以下
- ◎ 変光星

★ ほしぞらだより

今年の冬は夕暮れ時の西の空で明るく輝く“宵の明星”金星を見ることができます。金星が沈んだ後のおすすめはおおいぬ座の1等星シリウス。シリウスは星座をつくる星の中では全天で1番明るい星です。そのシリウスと赤く輝くオリオン座の1等星ベテルギウス、こいぬ座の1等星プロキオンを結んだものを「冬の大三角」と呼び、冬の星座を探す目印となります。また、ベテルギウスを取り囲むように位置している1等星のボルクス、カペラ、アルデバラン、リゲル、シリウス、プロキオンを結んでできる六角形を「冬の大六角」と呼びます。今年の冬はさらにおうし座のところに木星と、ふたご座とかに座のあたりに火星も輝き、たいへん賑やかな夜空になります。